

大山・蒜山山行報告

【山行日】 2014年 5月24日(土)～26日(月)

【集 合】 野木町島田宅 AM 4:00

【費 用】 マイカー(1台) 37,400円

【メンバー】 CL:鈴木、SL: 大西、 島田、関、渡辺

5月24日(土) 快晴 宿泊施設 休暇村『奥大山』へ

野木町島田宅 4:00＝新東名～新名神～中国道～米子
道経由＝休暇村「奥大山」15:00



去年11月四国石鎚山から大山の山行を計画したが、大山は予期せぬ大雪に遭遇し登山を断念した。

今回はそのリベンジ山行なので、天候によっては蒜山を諦めて大山に登る計画にし、宿を大山と蒜山の間にある休暇村「奥大山」とした。

今日は移動日でベース宿となる休暇村「奥大山」へと向かった。

もったいなくらいの快晴で「今日大山に登れたらよかったのにね。」と残念そうな声。

「明日までは晴天の予報だから大山はのぼれるよ。」「でも蒜山は危ないかもね。」との会話を交わしながら休暇村に着いた。

のんびりお湯に浸かり美味しい夕食を戴いて7時過ぎに床に就いた。

5月25日(日) 晴れ 夏山道登山口から大山山頂、下山は元谷經由で

休暇村「奥大山」8:00＝夏山道登山口P8:45～六合目避難小屋 10:30～大山山頂 11:30/12:00
～六合目避難小屋 13:00～元谷 13:45～大神山神社 14:10～登山口 15:00＝休暇村 16:00

朝起きてすぐに窓の外を見ると、薄雲はあるが良い天気。



皆さんのリクエストで朝食バイキングをいただいてからの出発とした。

好きなものを好きなだけ食べ、エネルギーを満タンにしお昼のお弁当を受け取り出発する。

大山へ向かう途中の道路から、荒々しい山容の大山がクッキリ見え今日の登山に期待が膨らむ。

夏道登山口駐車場に着くと駐車場は満車。奥まで進み

やっと1台分空いていた場所に駐車する。今日は出だしから運が良い。ラッキー～～

ストレッチとトイレを済ませて出発する。登山道へ入るとすぐにニリンソウやコイワカガミの花が歓迎してくれる。絶好の登山日和に新緑のシャワーを浴びながら歩ける幸せに感謝“”感謝“”。

でも朝食のバイキングを食べすぎた体の足取りは重い。四合目過ぎると赤紫のダイセンミツバツツジがあざやかに映える。ツツジやダイセンキスミレの花を見ながら六合目避難小屋に着く。

避難小屋から先は傾斜がきつく、灌木帯になるので日差しがきつい。所々で、崩壊が進む北壁を望みな





がら高度を上げて行く。八合目から少し登るとゆるやかな尾根に出て、ここから先は植生保護の木道歩きとなる。大山頂上小屋が見え、すぐ後ろに頂上が見えた。

前回登った時は強風とガスで視界が効かず、小屋から頂上までがえらく遠くに感じたが、今回はすぐそこに見えるので驚いた。

天候によってこんなにも違うものなのかと実感した。

頂上で記念写真を撮り、方向指示盤を見ながら山座同定を楽しんだ後昼食を戴く。

山頂は風も穏やかで多くの登山者がお弁当を広げて食べていた。

頂上小屋で全員トイレを済ましてから下山する。

途中から石室へ周遊するコースを進み、大山キャラボクの純林の中を歩く。

六合目避難小屋の先から元谷向かう行者コースを降りる。元谷の河原へ降り立つと崩壊した北壁が凄まじい迫力で迫ってくる。河原を上がり砂すべりからの登山道と合わせ、ゆるく登り返すと大神山神社へ着く。1500年の歴史を持つ立派な神社だ。帰り道大山寺もお参りし、モンベルの店を覗いて大山寺橋を渡ると駐車場に着いた。

去年のリベンジを果たし夜の宴は大いに盛り上がった。

5月26日(月) 雨 蒜山登山を断念し帰路につく
休暇村「奥大山」8:30＝道の駅「風の家」8:50/9:10＝
蒜山S/A9:20/9:40＝甲賀土山S/A12:30＝静岡S/
A15:00＝蓮田S/A18:00＝野木島田宅 18:50

昨夜の天気予報で雨の確立が高いので、今日の蒜山山行は中止となった。

朝5時に起きて窓を開け、外を見ると激しく雨が降っていた。やはり中止だなと諦めがついた。

朝風呂にゆっくりと浸かり、朝食バイキングをしっかりと食べて宿を出た。

インター手前の道の駅「風の家」に寄ってお土産を買った。朝採れの新鮮な野菜が並んでいたが、平日のせいか品数は少なかった。ワラビやタケノコなど地元の山菜を買って出発した。

ところが高速に入ってすぐの蒜山S/Aに寄って、菓子や乳製品のお土産を購入する。

雨は降っているが小雨程度で運転には影響ない。中国道へ入ると雨は上がり順調に走れた。

新名神の甲賀土山S/Aで昼食休憩、新東名の静岡S/Aで最後のお土産を買い東京へ向かう。

首都高も大きな渋滞はなく走り、19時前に野木に着くことが出来た。

蒜山は登れなかったが、素晴らしい大山を堪能することが出来、大満足の山行だった。

